

第2回

複言語・複文化主義とアイデンティティ研究会

発表

自分の可能性へつなげていく 「ことばの教育」へ

—多様な言語背景を持つ一人の日本語学習者が語る言語意識の考察より—

早稲田大学日本語教育研究科招聘研究員

鄭 京姫氏

本発表では、個人が言語をどのように使用し、学習し、認知しているかという「個人の感受性と気づき」を言語意識であると捉え、どのように言語学習を進めてきて、どのように自己評価をし、自らの言語能力に向き合っているかに注目し、言語を巡る経験、言語应用能力、言語意識を多様な言語背景を持つ一人の日本語学習者の「日本語人生」から考察・分析したものを述べたいと思う。その上、自分の可能性へつなげていく「ことばの教育」の必要性とその可能性とは何かを会場のみなさまと考えていきたい。

11月15日（木）16：15－17：30

秋田大学一般教育1号館2階（多文化交流ラウンジ）

参加費無料・どなたでもご参加いただけます。

主催：秋田大学国際交流センター牲川研究室 segawa@gipc.akita-u.ac.jp